

第41回 船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：令和元年7月10日（水）

10：00～12：00

場 所：船橋市役所9階 第1会議室

出席者：別添名簿参照

事務局	事務局連絡
	1. 開 会
	2. 議事及び報告
議 長	ただいまから、第41回船橋市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。この会議につきましては、会議運営規程第2条第一項に基づき、公開することといたしますので、よろしくお願いいたします。それでは、議題の1つめの「平成30年度船橋市地域公共交通活性化協議会決算(案)」について事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局より説明>【資料1】
議 長	それでは、ただいまの議案につきまして、何かご質問やご意見がありましたらお願いいたします。
議 長	よろしいでしょうか。それではこの決算をご承認ということで進めさせていただきたいと思います。
議 長	続きまして、議事の2つめでございます。「平成30年度公共交通不便地域解消事業の実施結果」について事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局より説明>【資料2】
議 長	はい、こちらについては報告ではありますが、何かご質問あればよろしくお願いいたします。
委 員	はい。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	田喜野井地区については中々乗り残しが減少していないのが現実かと思うのですが、今ある車両をワンボックス車からマイクロにするとかいう話も承っているのですけれども、その後の話がどうなっているのかお聞きしたいと思います。

議 長	はい、事務局お願いいたします。
事務局	車両につきましては、今のところ変更の予定はございません。今年度、道路の一部を拡幅して、大きい車両が入るかかどうかというところで、それで走れるかどうかテストするという形になるかと思うのですけれども、もしそれで大きい車両がいけるということであれば、車両の変更ということも考えて参りたいと思います。また、増便についても、京成バスさんともお話しはしているのですが、もし増便することであれば、運転手さんをもう一人増やすような形になりますので、その分、運行経費がかかってしまうということで、収支率 50 パーセント割り込む可能性がありますので、現状では増便も難しい。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	大体の目途ですけれども、その辺のところはどのような状況なのか、全然話にならないというのか、それとも多少は前を向いていくのかということが知りたいなと思うのですけれども。
議 長	はい、事務局お願いします。
事務局	今、見通しが悪くて、出っ張っているところを削り、それに伴って、道路拡幅という工事になっていると思うのですけれども、今回の箇所が終わったとしても、また新たにそのような箇所、先程、事務局の方からも説明したように、支障となる場所を、今回の工事が終わったら一回バス会社さんのほうに見ていただいて、この部分も狭いとなった時に、また広げないと大きいバスを走らせられないので、その辺の検討というのは必要になってくると思っております。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	今の状況だと、目途が立たないということなのですか。どのように理解しているのかよくわからない。
議 長	事務局お願いします。
事務局	正直に申し上げますと、今のところは、法面のところで、家のないところまで出っ張り、見にくいということで、協力は得やすいと思うのですが、今後支障となる狭いような箇所になってくると、家の部分が当たっちゃうというような対策も必要になってくると、その時は、長期的なスパンでいかない限りは、なかなか協力はもらえないかなと思っております。
議 長	はい。いかがでしょうか。

委員	少しわかった気はするのですが、今日はこれまでにして、またにしたいと思いません。ありがとうございました。
議長	はいどうぞ。
事務局	いずれも、地元さんから要望があった内容を、伝えきれていない状況であります。適宜、話し合いをもつようにいたしますので、よろしく願いいたします。
委員	はい。
議長	はい、どうぞ。
委員	本日委嘱された方もいらっしゃると思いますし、私も本日初めて出席させていただくのですが、今の乗り残しの問題と議論を含めて、中々その内容が見えてこないのは、今どのような車両を使って、何人乗りの車両を使っているのか、その上で、乗り残しがどれだけあるのかというのが、この会議に出席されている方全員が把握されていないと思いますので、その辺のご説明を一度していただきたいなと思います。
議長	今、お話がありましたように、今回初めて出席されているかたもいらっしゃいますので、そのところを少し具体的に状況を事務局のほうから説明していただけますか。
事務局	現在、道路の幅員が狭いために、ワンボックスの車を利用しております。運転手含めて13人乗りのものです。お金の受け渡し等も、PASMOとかSuikaとか、スペース的に機械の設置は難しいので、現金のみとなっております。また、全員の着席が必要ですので、子ども料金というものも設定されていないということで、一人210円の運賃をいただいております。乗り残し対策としましては、朝とか夕方の利用者の多い時間帯は、続行便として、2台併走して便を出しておりますが、それでも積み残しがあるという状況が解消されていないのが、現状でございます。
議長	はい、ありがとうございます。
議長	他にいかがでしょうか。
議長	よろしいでしょうか。はい、それでは次の議題の3つめになります。今年度の「平成31年度公共交通不便地域解消事業の実施状況」について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<事務局より説明>【資料3】

議 長	こちらの報告でございますが、ご質問あればよろしくお願いたします。
委 員	すみません。
議 長	はい。
委 員	一点だけ、これ今、平成31年度の説明をいただいたのですよね。それで、このページでいうと、この下が平成29年度になっていて、前のページ、平成30年度のご報告をいただいた、資料2のところと、併せて見ていただいて、平成23、24、25、26、27、28、29年度、それと前のページの平成30年度に加えて、今年度の状況ということでよろしいかどうか確認だけさせていただきます。
議 長	事務局お願いします。
事務局	平成29年度までしか掲載されていない状況です。申し訳ございません。平成30年度の数値につきましては、この一個前に説明しました数字をご覧いただければと思います。
議 長	今、この議題3の中に平成30年度という箱はありますよね？これが平成30年度の実施結果が書いてあるのですよね。
議 長	数字自体は、スライドになっている資料にのってございますので、ちょっとそれじゃない縦書きの資料のほうは申し訳ございません。不適切な部分があったということでございます。
議 長	他に何かございますでしょうか。
事務局	すみません。
議 長	はい、事務局
事務局	平成31年度の資料につきましては、差し替えて、新しいものを作成いたしますので、お時間いただきたいと思ます。申し訳ございません。
議 長	この概略の数字自体はこの青いほうに書いてあるということよろしいわけですね。
事務局	そうです。
議 長	みなさまこのスライドの資料はお手元がないということございまして、前のほ

	<p>うに出ております。これは田喜野井です。八木が谷のほうもう一回映していただけますか。</p> <p>上の方が、平成31年4月から6月までの状況が書いてあるということでございます。こちら今、ご覧いただいて、次の丸山地区のほうお願いします。</p> <p>延べ利用者数40,960人で一日平均450.1人とのことです。</p> <p>次は田喜野井のほうお願いします。</p> <p>こちらの延べ利用が、24,710人で、一日平均が271.5人ということがあります。</p> <p>乗り残しの方がありまして、209人と、一日平均2.3人ということになっています。</p> <p>資料のほう、不備があって申し訳ありませんでした。以上をふまえて、ご質問あればよろしくお願いします。</p>
議 長	はい、どうぞ。
委 員	今のご説明で、この資料の例えば資料の八木が谷地区の延べ利用者数、28,111人、一日平均飛んで308.9人とございますけど、この一日平均と、308.9人の間に、平成31年度という文字が入るということでしょうか。
議 長	事務局お願いします。
事務局	平成30年度の文字が抜けているということで、資料3のところを見ていただくと、下のほうから、平成23年度から平成29年度まであるのですが、そのところに平成30年度の文字が抜けているということで、そのところは、パワーポイントの方を見ていただくと、その数値がのっていますとご説明差し上げています。平成31年度につきましては、速報値として先月の6月30までの利用状況が、そのところに入っている状況となっております。以上です。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	要は、単純に平成30年度の文字が抜けているということですか。
議 長	事務局お願いします。
事務局	そうです。
議 長	はい、どうぞ。
事務局	補足させていただきます。平成30年度の文字が抜けているというよりも、平成30年度のデータそのものが抜けているということでございますので、よろしくお願いたします。直したものの資料を後でみなさんにお配りしたいと思っております。

	<p>で、よろしくお願いいたします。</p>
議 長	<p>他いかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>ご案内の資料は、平成31年度の公共交通不便地域解消事業の実施状況ということで、この資料にあります、八木が谷地区と、丸山地区と、田喜野井3地区における船橋市の公共交通の予想のデータが凝縮されて出ているということでございます。この解消事業という定義について、いわゆる走らせた後に、先程も道路の構造についても色々調査をすとか、市民の方のご要望を受けるという色々なお話、それからこうした公共交通活性化協議会におけるこの協議、いわゆる解消するためにどういう取組が行われてきたかという部分は、あえてこの資料等ではご案内されていないみたいですが、この解消事業、実施状況という定義について事務局さんの方でお考えを頂ければありがたいと思います。</p>
議 長	<p>はい、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>こちらの事業につきましては、平成21年度に、こちらの協議会の方でご議論いただきまして、船橋市公共交通総合連携計画というものを立てました。その中で、船橋市内に交通不便の地域があるということで、その不便地域をまず洗い出すという作業をしました。この作業は、鉄道駅とか、ある程度本数のあるバス停から離れている地域を不便地域といたしまして、その部分にお住まいの方々の移動をどう支援するかということで、その計画は成り立っております。その後、実証実験を行いました。主にオンデマンドタクシーとバスです。実証実験した結果、オンデマンドタクシーについては、利用率があまり上がらなくて、船橋市には馴染まないという結果がでてきて、バス事業が残って、そこから始まっているという経緯があります。最終的な目標としましては、これらのバスを民営化するまで支援したいということで、今までお話をさせてもらっています収支率をなるべく100パーセントにしていきたいということです。ただ、丸山地区については、東武線の馬込沢駅のところにはバスの転回場がなく、今、民有地を借りてバスを転回させてもらっているという状況でございます。それがあるので、収支率100パーセントを超えているのですが、現状では路線バス化ができないという状況がございます。我々としては、これらのバスの収支率をまず上げること、それからまだ解消されていない地域がございますので、そちらについて何か新たな施策を考えていく必要があるということで、地域公共交通網形成計画という新しい計画を立てていって、その中で、新たな施策等を検討していきたいということで考えております。そちらの検討につきましては、こちらの協議会の方でもご議論いただければなと考えております。</p>
議 長	<p>よろしいですか。</p>
議 長	<p>解消事業というものは一応個別にやっている3つのものを指すというこ</p>

	とでございまして、単に数字をここで発表するというだけではなく、もう少し全体の状況がどうなっているのかというのを説明があった方がわかりやすいのではないかなというお話だったと思いますので、今後の事業の報告の仕方については事務局の方で整理させます。
議 長	はい、それでは他にご質問よろしいでしょうか。
議 長	続きまして議題の4つめになります、「消費税率引き上げに伴う運賃改定(案)」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局より説明【資料4】>
議 長	こちらについては、改定案についてご承認を頂くものになります。ご質問、ご意見あればよろしくをお願いします。
議 長	いかがでしょうか。
議 長	特にご質問ご意見なしということでよろしいでしょうか。 はい、こちらの「消費税率引き上げに伴う運賃改定(案)」につきましては、ご承認をいただきました。 続きまして議題の5番、「平成31年度予算の変更(案)」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局から説明【資料5】>
議 長	こちらのものについてもご承認を頂くものであります。 ご質問、ご意見あればよろしくお願いたします。
議 長	はいどうぞ。
委 員	今回の予算変更が、国からの補助金が100万円減額になって、それに伴って、網形成計画の調査事業費が100万円削られて、いってこいになるというところなのですが、この事業費を100万円減額することによって、網形成計画の調査内容において、何か制約ですとか、やる内容の減少みたいなことがあるのか否か、というところをお教えいただけたらありがたいなと思います。
議 長	はい、事務局お願いします。
事務局	この計画につきましては、3か年で計画を立てる予定になっております。その中で今回減額になった分を、そのままいけるのか、それとも金額的に足りないのか、次年度以降で調査を若干次年度の予算に追加していくのか、委託業者の方と協議し

	<p>で参りたいと思っておりますので、今のところはそれほど大きな影響はないと考えております。</p>
議 長	<p>よろしいですか。</p>
議 長	<p>他に何かございますでしょうか。</p>
議 長	<p>よろしいでしょうか。はい、それではこちらの「平成31年度予算の変更(案)」については、ご承認を頂きました。</p> <p>続きまして6番の「船橋市地域公共交通網形成計画(案)の作成」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局より説明【資料6】></p>
議 長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見ございましたらよろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>はい</p>
議 長	<p>どうぞ。</p>
委 員	<p>バス利用者が減少しているとのこと説明がありましたけれども、この原因についてどのようにお考えになられているのかをお聞きしたいと思います。</p>
議 長	<p>事務局をお願いします。</p>
事務局	<p>バスの減少につきましては、一部交通渋滞による影響もあるのですが、利用者が若干減ると、バスがどうしても減便ということで、減ってしまう。またそれに伴って利用者が減るという負のスパイラルという状況になっておりました、現状ではなかなか解消できない。先程も言いましたように、自家用車は未だに登録台数が増えておりました、どちらかという、自家用車で駅まで行って、車で送り迎えをして、鉄道に乗ってしまうという状況がありまして、バスの利用者が減っているという状況であると思われまふ。この辺につきましては、今年度の調査の中で細かい原因等については精査させていただければと思ひます。</p>
議 長	<p>よろしいですか。</p>
議 長	<p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>はい、私は労働組合の代表として出席させていただいておりますけれども、この移動交通を策定事業の概要の中の市内のどっからでも目的地にわかりやすく、安価</p>

	<p>で早くて楽に移動できる手段と目的として書かれておりますが、安くてとかいうワードが入ってしまうと、誰しもが求めるところではあるのですけれども、バス事業者が抱える問題として運転手不足の問題だったりとか、そういった採算が取れなくて撤退してしまう問題だったり、そういうところにリンクしてしまう可能性がありますので、目的として安くてとか、言葉として安かろう悪かろうという言葉が世の中にあるように、安かろう危なかろうなんていう公共交通があるのはいかがなものかと私としては考えています。街づくりの一環として、社会インフラとして進めていく上では、この辺補助金の問題ですとか、難しい問題もあるのでしょうか、安価でという言葉は不要ではないかというふうに感じております。</p>
議 長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
議 長	<p>これ何か事務局、お考えはありますか。</p>
事務局	<p>アイデアは色々あるかと思うのですけれども、当然お話いただいているように、適正な価格というのは必要でございますので、これから計画の中でどういうものができるのかというのを検討して参りたいと思っています。</p>
議 長	<p>はい、ありがとうございました。</p>
議 長	<p>今ご指摘いただいた話は、展望がありまして、安価というとそこに価値をおいて、そこを目指していくという部分が強調されるくらいは確かにはないので、今後の言葉遣いについては、注意して頂ければ。もっと幅広い概念で、例えば使いやすとか、私が思いついた例に過ぎないのですけれども、安価というのも一つの考慮の良さになると思うのですけれども、使い方については今後気をつけてまいりたいなと思います。</p>
議 長	<p>他いかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>今、弊社の労働組合の委員からも発言がありまして、労働者の代表、私はどちらかという、会社経営側の代表で、同じ組織の中でもありますけれども、今労使で隔たりなく、似たような見解を持っているところでございます。バス業界の現況としては、先程も話がありましたし、皆様報道等ではご承知かと思っておりますけれども、運転手がどんどん不足してきている。こういう中で、この資料の中にも、資料概要にございますが、公共交通において、前回の会議でも申し上げたとおり、市内の交通ネットワークを考えると、一番の幹は鉄道があります。それぞれの駅から各地域に行くバスというのは、幹に対して枝ですね、そこで補いきれない交通不便地域等々はある中で、今やっている八木が谷であり、田喜野井であり、丸山というところをはじめとする、コミュニティバスのようなものは葉脈であり、それをさらに補う俗にいう横文字で、ラストワンマイルという言い方をしますけれども、駐輪場を整備して、</p>

	<p>自転車に乗り継いだり、あるいは他の交通網があつたりとかいうことで市内の交通ネットワークができていくものと思いますが、一方で課題となるのが、先程も出てきましたが、我々含めて交通事業者が民営でやっているというところにあると思います。その中では、市の補助金等もいただきながら、維持をしていくわけなのですが、民営である以上、そこが赤字のまま経営が持続できない。交通ネットワークの永続性の問題になってくるというところがありますので、そういった観点、安いに越したことはないのですが、適正な運賃等、それから市として、行政として、その自治体の交通ネットワークの維持に向けての一部固定費にもなりかねないのですけれども、助成補助をどうしていくのかというところまで含めて、この目的の中に交通ネットワークの永続性維持のような観点を文言が入ってくると、よろしいのではないかと考えておりますので、参考までに申し上げたしだいにございます。</p>
議 長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今いただいたご意見につきましては、今後もこの網形成計画の作成の中では、十分考慮して進めていきたいと思ひます。ありがとうございます。</p>
議 長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>はい。</p>
委 員	<p>今回の網形成計画、先程スライドでの説明はありましたが、短期から中期の計画の立案をするというような説明がありましたけれども、例えば具体的にどこから手掛けていくのか、何から手掛けていくのか、実施計画あるいは実施プログラムみたいなものまでこの検討の中に含める予定なのかどうかちょっとお尋ねいたします。</p>
議 長	<p>はい、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>三年間で策定していくという計画で、初年度は調査ということで、来年度素案、その先の令和3年度に計画案の作成となります。この計画の策定の中で、実施を含めたプログラムを考えていきたいと思ひております。</p>
議 長	<p>はい、他いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>船橋市地域公共交通網形成計画策定事業の内容について2点教えてもらえたら</p>

	<p>と思うのですけれども、4のですね、計画策定事業のスケジュールを拝見しますと、2019年の7月から3年間近く、長期間に渡って、計画策定を進めるということでございます。一方で道路交通環境については、先般も東京外郭環状道路が伸びてきて、高速道路上だけの混雑だけじゃなくて、沿線の道路も急に混雑が少なくなったとか、予定しえない道路交通環境の改善とか、もしくはまた渋滞の激しくなったとか、3年間の長期間に渡って、策定上でも道路環境が色々と変わるのではないかと思慮されるのですが、これを見ますと、基礎調査をして、素案をつくって、形成計画案ということで、段階的に次の年度、次の年度ということで計画の策定を進めていく場合に、途中で大幅な変更があったときは、その都度軌道修正、計画の見直しをどのように策定中にするのかという点と、1年、2年目と、2年目も方針をつくるとスライドで拝見したのですけれども、この公共交通活性化協議会がどういう時に策定スケジュールに関わっていくのかという部分。ある程度方針だけ決めて、最後のアウトプットまで事務局の方で進めてやるのか、どの辺で、公共交通活性化協議会委員にご意見がいただけるのか、聞かれるのか、この辺のスケジュールの中の要所の部分を教えていただけたらと思ひまして。よろしく申し上げます。</p>
議 長	<p>大きく2点ありまして、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>修正についてですが、短くいきたいと考えております。協議会の関わりなのですが、まだ受託候補者も決まっていない段階でということもあるのですが、事務局の考えとしては、この協議会に報告というのは定例会の中ではしていかないといけないと思うのですが、それ以外にも作業部会を使って、ここのつながりをつくっていかないと、計画策定に皆様の意見を取り組めないのかなという感じでおります。実際業者が決まりましたら、作業計画とかが出てくるので、その中でどのような関わりができるのかというのはご報告していきたいと思っております。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>詳細な説明ありがとうございます。一つ目の質問で、そこはまだ受託業者が決まらないということで理解しましたので、また次回の会議等でもお示しいただけたらと思います。2点目については、定例会でもいつも情報提供を頂くという説明と、ワーキングというのが事務局のご説明でありましたので、色々と検討中の状況を定例会の方でもお示しいただけると理解しました。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>軌道修正の話につきましては、おっしゃる通りで、最初基礎調査をやって、それをずっと固定していくということではなくて、こちらのほうも色々と情報収集していきますし、皆様の方で、私どもの知らないところで情報を入手されることもあると思いますので、先程ありました今後の協議会、定例会とかワーキングを主力とす</p>

	<p>る中で、色々お話も伺わせていただきながら、反映してすべきところは修正していくということなのかと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>他に。</p>
委員	<p>はい。</p>
議長	<p>はいどうぞ。</p>
委員	<p>先程の安価という言葉はご検討いただけるということで、そちらの方はお願いしたいと思います。私ども国土交通省関東運輸局としましても、質のいいというものが一番大事でございます。先程もほかの方からご意見がありましたけれども、安かろう悪かろうでは一番よろしくないですし、今私どもとしましては、安心安全という言葉の一つのキーとして色々と説明しているところでございますので、計画を作っていた中で、これはあくまでも参考というか意見としてお聞きいただければと思うのですけれども、安心安全という形を一つ入れていただきながら進めていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。国の方からもそういうお話を頂きました。そこはしっかり言葉を使わせていただきたいと思います。また実際の中身としても考慮していきたいと思っております。どうもありがとうございます。</p>
議長	<p>他いかがでしょうか。</p>
議長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>本日、交通網形成計画について、皆様でご議論頂けるということに関しても、先程、他の委員の方からもございましたが、今後地域公共交通の取り巻く状況がどのように変わっていくかという予測が難しいということでございますので、例えば今話題となっているところだと、自動運転とかの技術がどのぐらいの速さで進歩するとか、まっただかの中予測ができませんので、それらがどういった形で進んでいくかも大きく関わってくると思っておりますので、そういう個々について一度決めてしまったら、中々修正できないとか、そういう状況ですと、協議会として厳しいと思っておりますので、そちらの方で提案ができるような形が望ましいと思っております。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。今のお話も踏まえまして、今後検討を進めて参りたいと思います。ありがとうございます。</p>
議長	<p>他いかがでしょうか。</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。はい、では今回のこの部分業務につきましては、今色々と</p>

	<p>ご意見いただきましたので、その点はしっかりと踏まえながら今後も検討を進めて、また皆様と適切な時期にご相談をさせていただきながら進めていきたいと思っております。</p>
議 長	<p>はい、続きまして議題の7番め「船橋市地域公共交通網形成計画策定調査業務に係る委託業者の選定(案)」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局から説明【資料7】～【資料10】></p>
議 長	<p>はい、ありがとうございます。ただいまの議題7の調査業務に係る委託業者の選定(案)ということですが、これに関連して一括して資料の7番から資料の10番までご説明を差し上げました。ちょっと細かい部分もある資料になっておりますが、プロポーザルについては、船橋市のプロポーザルの実施に関する要領を参考にして作成しています。それから今、スケジュールの中で8月1日にプレゼンテーション審査を行うというお話でございました。この評価委員会の会長をこの私、委員長がやるということになってございます。この評価委員会は今日議決していただきましたが、今日から設置されるということになっておりまして、それで私がこの委員長になるということになってございます。ただ私実は、今月末をもって、副市長を退任することになってございます。8月1日からはまた後任の副市長がこちらの会長をやらせていただくことになる予定でございます。したがって、この評価委員会8月1日のプロポーザルの審査につきましても、私ちょっと不在になるものですから、後任で参ります委員長、副市長ですけれども、当日何かと色々とはかの着任関係の用務もありまして、プロポーザルの審査に参加できないものですから、一番最初の委員会でこういう欠席になってしまい大変申し訳ないのですが、副会長であります、吉田様にこの代理として、評価委員会の委員長の方をお願いしたいと考えているところでございます。そうしたことを踏まえまして、この議題につきまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いしたいと思います。</p>
議 長	<p>はい、どうぞ。</p>
委 員	<p>確認ということで、お伺いさせていただければと思うのですけれども。資料をいただきまして、スライドと見て、見落としがあればご指摘いただけたらと思うのですけれども、実施要領(案)資料7で、この業務が令和2年の3月25日までの業務の概要となっておりまして、基本的にこの調査業務に係る策定まで今回のプロポーザルによって、3年の長期に渡ってお願いをするような決定をこの評価委員会で行うのかどうか、この辺について誤解がないように確認させていただきたいと思っております。お願いいたします。</p>
議 長	<p>はい、ありがとうございます。事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p>今年度の業者を決めるのに、このプロポーザル実施要領をつくっておりますの</p>

	<p>で、今年度に関しては、このようなやり方で業者を決めていきたいと考えていますが、通常でいくと来年度以降は随意契約でお願いしていくのかなと思っております。今後進めていく中で、協議会にはかりながら、決めていきたいと考えております。</p>
議 長	はい、どうぞ。
委 員	ありがとうございます。
議 長	他にいかがでしょうか。
委 員	ちょっとよろしいですか。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	<p>基本的なことをお尋ねしたいのですけれども、先程ご質問というかお聞きすればよかったのかもしれないのですが、そもそも題名が地域の公共交通、公共交通ネットワークを扱っているということで、業務の内容、資料の8番のところの業務内容で公共交通現状とかは、先程ご説明にもあったように、当然のことながら鉄道事業というものの乗降客数とか色々出てきたわけですけれども、今回これで扱うのは、鉄道事業者の扱いですとか、鉄道網の取り扱いとか、そういったものはこの計画の中ではどのように位置づけられるというか、確認したかったのですけれども。</p>
議 長	事務局お願いします。
事務局	<p>はい、その件につきましては、前回の協議会の中でも委員からご指摘があったように、鉄道事業者も当然、交通事業者として事業を行っておりますので、その辺の方々にもメンバーに加わっていただく必要があるのではないかというようなご指摘もありました。鉄道も含めて地域公共交通のネットワークということで考えて参りたいと思っております。特に、交通結節点ですね、ここについてはやはりこれから重要な課題になっていくと思われまますので、その辺については、この計画の中で十分ご理解いただければと思っております。</p>
議 長	はい。他にいかがでしょうか。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	<p>プロポーザルのスケジュールを書きとめられなかったので、できれば資料として、添付して頂けたらと思います。</p>
議 長	はい。このスケジュールは委員の皆様には後ほど配布をさせていただきたいと思

	ます。
議 長	他いかがですか。
議 長	他いかがでしょうか。
議 長	よろしいでしょうか。それではこの議題の7につきまして調査業務に係る委託業者の選定、資料7から資料10について、一括でご承認を頂きました。どうもありがとうございました。
議 長	ご承認をいただいたということで、評議委員として船橋新京成バスの吉田様、それから市民代表の清水様、日本大学教授の轟様、大石建設局長、木村道路部長に評議委員になっていただきます。業者選定の方よろしくお願いたします。
議 長	最後に今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局より説明【今後のスケジュール】>
議 長	はい、よろしいでしょうか。
議 長	全体としまして、ご質問など何かありましたらよろしくお願いたします。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	公共交通不便地域の乗ってらっしゃる乗客のみなさんの目的ですけれども通勤、通学、買い物であろうと思うのですけれども、その秋から経済部の移動スーパーということで、買い物難民の方が、自分のエリアで買い物できるという制度が今回始まる予定ですけれども、この公共交通の乗客数の将来方向と言いますか、人数、どんなふうに考えてらっしゃるかお聞きしたいと思います。
議 長	はい、事務局をお願いします。
事務局	これから計画の中に入れていくのですが、最低でも現状維持はしていきたいと。当然、利用者を増やすということが目的であるというのは間違いないことで、もう1点は、人数というよりも、現状でも不便地域がいくつかありますので、そういうところの解消をどう考えていくのかというところを重要なテーマとして考えていきたいと考えております。以上です。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	ありがとうございました。

議 長	はい、ありがとうございます。
議 長	他いかがでしょうか。
議 長	よろしいでしょうか。 それでは本日の議事は以上となります。私ごとで大変恐縮でございますが、2年間皆様にはご協力いただけましてありがとうございました。本日、活発なご議論をいただきまして、有意義なご意見もいただきましたので、事務局の方に指示もいたしますし、私の後任にもしっかりと対応するように伝えて参りたいと思っております。今後、船橋市の公共交通がより良いものになるように祈念いたしております。2年間どうもありがとうございました。お世話になりました。これもちまして、この協議会を閉会いたします。